

IV 「2—1—2方式の授業研究」の実践例

以下に、算数科、社会科、理科、音楽科、体育科の「2—1—2方式の授業研究」の実践例をあげるが、紙数の都合で、学習指導案と事後研究会の一部しかのせることができなかった。

1 算数科

昭和54年9月7日(金)

第2校時 3年3組 教室

算 数 科 学 習 指 導 案

授業者 藤田小教諭 鈴木 康平

● 研究主題

「児童の考える活動を活発にするための授業展開の工夫」

● 研究のねらい

本校の児童は、学習への取り組みの態度が受動的で、問題解決に積極的に立ち向う姿や、自分たちで自由に考えを深め合ったりする姿は少ない。この原因は、いろいろ考えられるが、そのひとつに、教師の説明を中心とする単線型の授業が上げられる。

そこで、児童の自ら考えようとする意欲を助長し、考える活動を活発にすることを目指して、授業を改善する必要があると考え、授業の場面、場面で、自ら考えることの大切さに気づかせたり、考える楽しさを味わわせたりする展開を工夫することにした。

● 研究主題の解決策

- ① 問題解決への必要感や意欲を起こさせる工夫をする。
- ② 考える手がかりを与える工夫をする。
- ③ 学習の成果を自覚させる工夫をする。

1. 単元名 かけ算2

2. 単元の目標

- (1) 2位数や3位数に1位数をかける計算が、乗法九九などを基にしてできていることを知り、それをもとにして、筆算形式を作り上げることができるようになる。
- (2) 筆算形式によるかけ算の計算技能の習熟をはかる。

3. 指導計画

- (1) 2位数かける1位数の計算原理と筆算 4時間
 - 2位数かける1位数の計算原理 (1)
 - 2位数かける1位数の筆算 —— 本時 (1)
 - クリり上がりのある筆算 (2)
- (2) 3位数かける1位数の筆算 3時間
- (3) まとめ 2時間

4. 本時の目標

被乗数が、一の位と十の位の数に分解できることをもとにして、乗法の筆算形式をつくり上げができるようになる。

- ① 2位数に1位数をかける計算を、筆算の形に書くことができる。
- ② 2位数に1位数をかける筆算の計算方法を考えだすことができる。
- ③ 2位数に1位数をかける筆算ができる。

5. 児童の実態

省略